## 年 組 名前:

目。排水で代替できるかを実験した。 性ソーダを使ったことに生徒たちが着 リ性で、薬品で中和して産業廃棄物と の解決や地場産業の発信につなげた の工程で活用。製造した和紙でサウナ た。排水は産業廃棄物として処分され をほぐす「煮熟」の作業で、酸性のコウ けた際、紙の原料となるコウゾの繊維 だてを考えた。 ハットを制作した。生徒は「環境問題 るが、生徒は性質を生かして和紙作り が生コンクリートを加工する際の排水 い」と話していた。 を使い、和紙を製造する研究をし、商 わり、コンクリート加工を体験したこ 人会で山梨県勢初の最優秀賞に輝い 素科の高校生らが研究成果を競う全国 して捨てていると知り、有効活用の手 しが研究のきっかけ。排水が強アルカ を中和するために強アルカリ性の苛 2、3年生9人で研究チームを結成 排水は泥や砂が含まれていない た。1学期に土木工学科の実習に加 高校で市川和紙を製造する授業を受 P川三郷・青洲高商業科の生徒9人

## 青洲高生 和紙作り 研究成果全国-

地元産業の発信につなげたい」と話し 組みが実になった。環境問題の解決や 部の人に評価してもらえたことで取り きさんは「県の代表として出場し、外 報告した。 表の内容などが審査され、最優秀賞に た。研究の着眼点や取り組み内容、発 容を発表。18日には甲府・県防災新館 必要性を訴え、サウナハットを披露し を結びつけるパートナーシップ構築の 第31回全国高校生徒商業研究発表大会 で、県教委の降籏友宏教育長に受賞を で発表。コンクリート業者と和紙業者 チームのキャプテンで3年の浅原み 12月6日に高校で全校生徒に研究内 成果は11月に東京都内で開かれた、

(2023年12月19日付 山梨日日新聞1面)

問T 青洲高商業科の生徒は、どのような排水を使い、和紙を製造する研究をしましたか。
<b>問2</b> 和紙を作る過程の中で、何の代替で排水を使いましたか。
問3 全国高校生徒商業研究発表大会では、どのような発表で、最優秀賞に選ばれましたか。
<b>問4</b> チームのキャプテンで3年の浅原さんは、この研究成果を何につなげたいと話していますか。

教育目的以外の無断転載 複製および頒布は禁止します Copyright © 2024 山梨日日新聞社 THE YAMANASHI NICHINICHI SHIMBUN.